

WEB併催

第7回 JALAS

日本脊椎前方側方進入手術学会

The 7th Japanese Research Society for Anterior and Lateral Approach Spinal Surgery

検証

—Validation—

2021 1.30 [土]

会長 石井 賢 (国際医療福祉大学医学部整形外科学主任教授)

副会長 船尾 陽生 (国際医療福祉大学医学部整形外科学准教授)

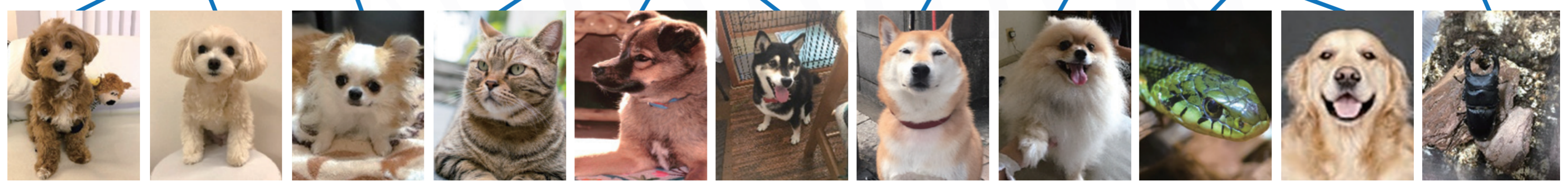
会場 JPタワー ホール&カンファレンス
(東京都千代田区丸の内)

事務局 国際医療福祉大学医学部整形外科学内
〒108-8329 東京都港区三田1-4-3
TEL.03-3451-8121(代) FAX.03-3454-0067(代)

運営事務局 株式会社ドゥ・コンベンション
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-5階
TEL.03-5289-7717 FAX.03-5289-8117
e-mail. jalas2021-office@umin.ac.jp



-Validation-



<http://jalas2021.umin.ne.jp>

第7回日本脊椎前方側方進入手術学会（JALAS）開催報告書

令和3年3月1日

2021年1月30日（土）に、JPタワーホール&カンファレンスを会場として、Webにて同時配信をおこなう第7回日本脊椎前方側方進入手術学会(The 7th Japanese Research Society for Anterior and Lateral Approach Spinal Surgery: JALAS)が国際医療福祉大学整形外科石井主任教授を会長、船尾准教授を副会長として開催されました。本会は研究会から学会となってから初めての開催でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響にて緊急事態宣言が発出されていることもあり、初めてのハイブリッド形式での開催となりました。

プログラムではランチョンセミナー1として国際医療福祉大学感染症学講座教授の松本哲哉先生から「新型コロナウイルス感染症の現状と診療面の対応-脊椎外科医が注意すべき点を含めて-」について、新型コロナウイルス感染症を取り巻く最新の情報と対策についてご講演をいただきました。

またランチョンセミナー2として東京医科歯科大学整形外科学教授の大川淳先生から「新型コロナウイルス感染症対応から学んだチームビルディング」について、実際に多くの新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた経験と、その課題や今後の医療の方向性についてご講演をいただきました。いずれのご講演も現在最重要課題となっている新型コロナウイルス感染症に対する非常に実践的な内容であり、参加者全員にとって意義深い会となりました。

また他にも頸椎人工椎間板置換術のハンズオン、脊椎前方側方進入手術について30の講演が執り行われました。いずれの内容も手術手技のエキスパートによるもので、参加者の若手からベテランまですべての世代にとって非常に有用な情報を得ることができる内容でした。

懸念された参加人数も前年を大きく上回る 300 人以上に及び、ハイブリッド形式における当日の運営も大きなトラブルなく円滑に進行いたしました。

本学会へご参加あるいはご支援を頂いたすべての皆様に深謝いたします。ありがとうございました。



第7回 JALAS

日本脊椎前方側方進入手術学会

The 7th Japanese Research Society for Anterior and Lateral Approach Spinal Surgery

WEB併催

